

2019年度「水俣・熊本みらい基金」助成事業報告書

企画テーマ	「水俣からの学び」エントランスづくりプロジェクト ～中学生のための学習教材づくり～
取り組み実施期間または日時	令和元年10月から令和2年6月まで

【取り組み目的】

平和学習については、様々な教材が存在するが、水俣病学習については、各学校や担当教員がばらばらに作成し、個人の努力と情熱によって辛うじて維持されているのが現状です。また、「人権教育」の分野でも扱われているが、指導できる教師の高齢化がここ数年で一気に進み、そのスピリッツと授業スキル継承が危ぶまれています。加えて「公害教育」という名前自体無くなることから一気に弱体化を懸念しており、水俣地域内ですらその兆候がここ数年強まっています。

今回の補助事業で「水俣から学ぶティーチャーズネットワーク」共通教材を「水俣からの学び」を授業に積極的に取り入れている現役会員力を合わせ作成させていただき、会員が中心になり、若い教師たちに継承する機運を水俣圏外から発信していきたいと考えています。

【取り組み内容と成果】

- ・中学生用の教材作成（ワークシート）を行う。

■実施内容について

ワークシート教材を作成し、指導教員もそれを授業で使用する過程で子どもとともに学ぶことができるような教材を作成する。

- ・中学校用ワークシート（各A4 7-8頁程度）を作成する
- ・ワークシート活用のため教員向けの授業用パワーポイントデータ（2時間分）と指導案を作成
- ・環境に配慮するため教師用サンプルとして100部ずつ印刷
- ・当社ホームページにサンプルPDFを掲載し、活用につなげる
- ・水俣地域へフィールドワークに来ている学校への紹介
- ・申請校へ上記データの送信

■申請校

佐賀学園成穎中学校

筑紫野市立二日市中学校

神戸市立押部谷中学校

武庫川女子大学附属中学校

神戸市立大沢小学校